

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

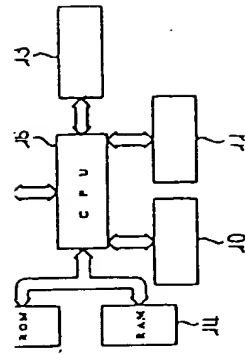
Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
Please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

or the like and starts cash account settlement processing. When account settlement processing and when the settlement of account is completed, the receipt printed by a receipt printer is issued from an issue port 4. In this case, when any abnormality is generated in write with a prepaid card reader/writer 17 or ejection, the error receipt describing the remainder before the update of the prepaid card, transferred amount or updated remainder is issued from the receipt printer by an error receipt issuing means.



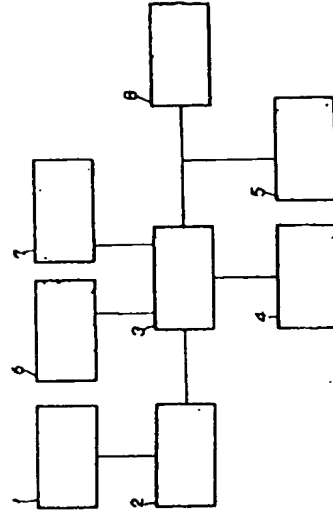
10: printer control circuit, 11: display control circuit, 12: keyboard control circuit, 13: prepaid card reader/writer I/F

(54) TRANSACTION POINT PROCESSOR AND RECEIPT

- (11) 6-36143 (A) (43) 10.2.1994 (19) JP
 (21) Appl. No. 4-194146 (22) 21.7.1992
 (71) GREEN SUTANPU K.K. (72) SETSUO KASUGA
 (51) Int. Cl.⁵ G07G1/12, B42D11/00, G06F15/21

PURPOSE: To provide the transaction point processor which can easily grasp the remaining number of transaction points to a target.

CONSTITUTION: The sales register work of merchandise is performed, and the member number of customer identification information recorded in a card 1 is read by a reading means 2. The number of transaction points this time is calculated corresponding to the purchase amount of a customer this time. The deposit remaining points of the customer up to the last time transaction are read and among the target point set by a target point number setting means 6, the target point set to the customer under processing is read. When the target point is reached, processing to give certificate stamps or bills recorded the target transaction point number by a transaction point giving and receiving means 7 is performed. The deposit remaining points are updated 3 by subtracting 4 the target transaction point number given to the customer from the deposit remaining points this time, and the remaining number to the next target point is displayed 8.



3: deposit remaining point updating means, 4: transaction point calculating means, 5: deposit remaining point storage means, 6: target remaining point display means

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-36143

(43)公開日 平成6年(1994)2月10日

| (51)Int.Cl. ³ | 種別記号 | 庁内整理番号 | F I | 技術表示箇所 |
|--------------------------|---------|-----------|-----|--------|
| G 0 7 C 1/12 | 3 2 1 P | 8921-3E | | |
| B 4 2 D 11/00 | | K 8604-2C | | |
| G 0 6 F 15/21 | 3 1 0 Z | 7052-5L | | |

審査請求 未請求 請求項の数2(全7頁)

(21)出願番号 特願平4-194146
(22)出願日 平成4年(1992)7月21日

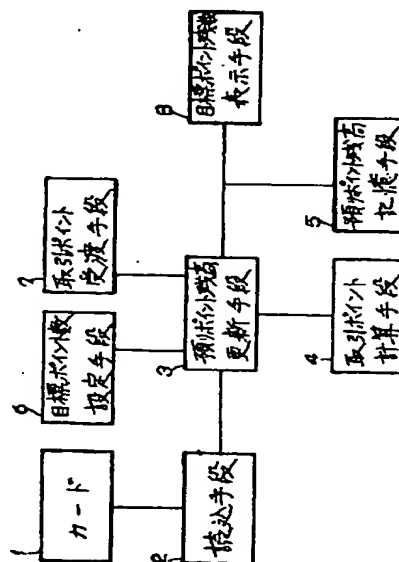
(71)出願人 391043136
グリーンプ株式会社
東京都世田谷区下馬2丁目27番13号
(72)発明者 春日 節雄
東京都港区南青山七丁目4番1号
(74)代理人 弁理士 澤澤 襄 (外2名)

(54)【発明の名称】 取引ポイント処理装置およびレシート

(57)【要約】

【目的】 目標までの取引ポイントの残数を容易に把握することができる取引ポイント処理装置を提供する。

【構成】 商品の売上げ登録業務を行ない、カード1に記録されている顧客識別情報の会員番号を読み込手段2にて読み込む。顧客の今回の購買額に応じて、今回の取引ポイント数を計算する。当該顧客の前回までの取引の残りポイント残高を読み込み、今回の取引ポイント数を加算することにより残高を更新する。目標ポイント数設定手段6で設定された目標ポイントのうち、処理中の顧客に設定されている目標ポイントを読み込む。目標ポイントに達している場合、目標取引ポイント数の記録がある証紙、金券などを取引ポイント受渡手段7により顧客に渡す処理をする。今回残りポイント残高から顧客に渡された目標取引ポイント数を減算することにより残りポイント残高を更新し、次の目標ポイントまでの残数を表示する。



(2)

特開平6-036143

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 顧客識別情報が記憶されるカードの顧客識別情報を読み込む読込手段と、
購買に関する取引ポイントを計算する取引ポイント計算手段と、

顧客から預かっている取引ポイントの残高を記憶する預りポイント残高記憶手段と、

この預りポイント残高記憶手段で記憶されたポイントの残高に、前記取引ポイント計算手段で計算されたポイントを加算するとともに、顧客に渡した取引ポイントを減算し、前記預りポイント残高記憶手段に記憶される預りポイント残高を更新する預りポイント残高更新手段と、顧客に取引ポイントを渡す単位としての目標ポイント数を顧客に従い設定する目標ポイント数設定手段と、目標までの取引ポイントを顧客に知らせる目標ポイント残数表示手段とを具備したことを特徴とする取引ポイント処理装置。

【請求項2】 発行した店名が記載された発行店名欄と、

発行時点が記載された発行時点欄と、

購買に関する金額を含む購買データを記載する購買記載欄と、

目標ポイントから購買に関する取引ポイントの預り残高を減算した目標ポイント残数が記載された目標ポイント残数欄とを具備したことを特徴とするレシート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、カードを用いて取引ポイントの処理を行なう取引ポイント処理装置およびレシートに関する。

【0002】

【従来の技術】従来のこの種の取引ポイント処理装置は、カードによる取引ポイントを処理するに際して、購買額に対応したポイントおよびボーナスポイントなどの取引ポイントを累計している。

【0003】また、カードによる取引ポイントの実施店では、月間平均購買額がたとえば10万円の顧客も1万円の顧客も同様にポイントを累積している。

【0004】さらに、累積した取引ポイントをレシートに記載するものとして、たとえば実開平4-18868号公報に記載のものが知られている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、単に取引ポイントを累計するだけでは、顧客が一定のポイント目標をもってカード実施店で買い物するという動機づけが弱く、取引ポイントの主たる目的である販売促進効果が得られにくいのみならず、集計などが煩雑になる。

【0006】また、実開平4-18868号公報に記載のように、単に累積した取引ポイント数を記載するのみでは、たとえば月間平均購買額が1万円の顧客に、10

万円の顧客と同じポイント目標を与えたのでは貯まる速さが遅いため、目標ポイントを手にするまでにかなりの時間を要し、目標ポイントまでの残数が分かりにくい問題を有している。

【0007】本発明は、上記問題点に鑑みなされたもので、顧客に取引ポイントを渡す単位としての目標ポイントを顧客に応じて設定し、また、目標までの取引ポイントの残数を容易に把握することができる取引ポイント処理装置およびレシートを提供することを目的とする。

10 【0008】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の取引ポイント処理装置は、顧客識別情報が記憶されるカードの顧客識別情報を読み込む読込手段と、購買に関する取引ポイントを計算する取引ポイント計算手段と、顧客から預かっている取引ポイントの残高を記憶する預りポイント残高記憶手段と、この預りポイント残高記憶手段で記憶されたポイントの残高に、前記取引ポイント計算手段で計算されたポイントを加算するとともに、顧客に渡した取引ポイントを減算し、前記預りポイント残高記憶手段に記憶される預りポイント残高を更新する預りポイント残高更新手段と、顧客に取引ポイントを渡す単位としての目標ポイント数を顧客に従い設定する目標ポイント数設定手段と、目標までの取引ポイントを顧客に知らせる目標ポイント残数表示手段とを具備したものである。

20

【0009】請求項2記載のレシートは、発行した店名が記載された発行店名欄と、発行時点が記載された発行時点欄と、購買に関する金額を含む購買データを記載する購買記載欄と、目標ポイントから購買に関する取引ポイントの預り残高を減算した目標ポイント残数が記載された目標ポイント残数欄とを具備したものである。

30

【0010】

【作用】請求項1記載の取引ポイント処理装置は、預りポイント記憶手段で記憶されたポイントの残高に、取引ポイント計算手段で計算されたポイントを加算するとともに、顧客に渡した取引ポイントを減算し、預りポイント残高記憶手段に記憶される預りポイント残高を預りポイント残高更新手段で更新し、目標ポイント数設定手段で顧客に従い設定された目標までの取引ポイントを目標ポイント残数表示手段で顧客に知らせるため、目標までの取引ポイントの残数を容易に把握することができる。

【0011】請求項2記載のレシートは、目標ポイントから購買に関する取引ポイントの預り残高を減算した目標ポイント残数が記載された目標ポイント残数欄を有しているため、目標までの取引ポイントの残数を容易に把握することができる。

【0012】

【実施例】以下、本発明の取引ポイント処理装置およびレシートの一実施例を図面を参照して説明する。

【0013】図1において、1は磁気あるいはICなどのカードで、このカード1にはたとえば氏名または会員

50

3

番号等の顧客識別情報が記憶されている。そして、このカード1はカードリーダーなどの読込手段2にて顧客識別情報が読み込まれるようになっている。

【0014】また、この読込手段2には、顧客に渡さず預かっている取引ポイントの残高を更新するPOSレジスタなどの預りポイント残高更新手段3が接続されている。この預り取引ポイント残高更新手段3には、今回の購買額に応じた取引ポイントあるいはボーナス点に基づく取引ポイントを計算する取引ポイント計算手段4と、この取引ポイント計算手段4で計算された預りポイント

を記憶するたとえばPOSレジスタに接続されたストアコンピュータなどの預りポイント残高記憶手段5が接続されている。そして、預りポイント残高更新手段3は、預りポイント残高記憶手段5に記憶されている前回の預りポイント残高に、今回、計算された取引ポイントを加算することにより今回の預りポイント残高を更新する。

【0015】さらに、預りポイント残高更新手段3には、目標ポイント数設定手段6が接続され、この目標ポイント数設定手段6は、取引ポイントをたとえば証紙、金券などにより渡す単位としてのたとえば100点ある

いは1000点などの目標ポイント数を顧客群別もしくは顧客別に設定する。そして、この預りポイント残高更新手段3には、取引ポイント受渡手段7が接続され、預りポイント残高更新手段3で今回更新された預りポイント残高が、目標ポイント数設定手段6で設定された点数に達した場合には、証紙、金券などにより取引ポイントを顧客に渡す。

【0016】またこのようにして、取引ポイント受渡手段7で取引ポイントが顧客に渡された場合、預りポイント残高更新手段3では目標ポイント数に対応する取引ポイント数を減算することにより預りポイント残高を更新し、更新された取引ポイントの残高を預りポイント残高記憶手段5に記憶する。

【0017】さらに、預りポイント残高更新手段3には、たとえばレシートあるいはPOSレジスタのディスプレイなどの目標ポイント残数表示手段8が接続され、この目標ポイント残数表示手段8では、目標ポイント数設定手段6で設定された目標ポイントから預りポイント

残高更新手段3で更新された今回の預り取引ポイントの残高ポイント数を減算し、目標ポイント残高として表示する。

【0018】次に、上記実施例の動作を図2に示すフローチャートを参照して説明する。

【0019】まず、POSレジスタなどにより商品の売上げ登録業務を行ない（ステップ1）、カード1に記録されている顧客識別情報としてのたとえば会員番号を読込手段2にて読み込む（ステップ2）。そして、図示しないキャッシュレジスタなどの合計キーを操作し（ステップ3）、支払い用の現金等を預り、釣銭計算等の通常

(3)

特開平6-036143

4

【0020】次に、顧客の今回の購買額に応じて、たとえば100円毎に1ポイントのようにあらかじめ設定されている取引ポイントの計算基準に基づいて、今回の取引ポイント数を計算し（ステップ5）、預りポイント残高記憶手段5あるいはカード1などに記憶されている当該顧客の前回までの取引の預りポイント残高を読み込み（ステップ6）、今回の取引ポイント数を加算することにより取引ポイントの残高を更新する（ステップ7）。

【0021】一方、取引ポイントを顧客に渡す単位として目標ポイント数設定手段6で顧客群別もしくは顧客別に設定されている目標ポイントのうち、処理中の顧客に設定されている目標ポイントを読み込む（ステップ8）。そして、ステップ7で更新された今回までの預りポイント残高がステップ8で読み出された目標ポイントに達しているか否かを判断する（ステップ9）。

【0022】そして、目標ポイントに達している場合、たとえばPOSレジスタのディスプレイや電子音発生装置により、顧客およびPOSレジスタ操作者に目標ポイントに達した旨を表示伝達する（ステップ10）。POS操作者はこれらの指示により、目標取引ポイント数の記録がある証紙、金券などを取引ポイント受渡手段7により顧客に渡す処理を行なう（ステップ11）。そして、今回預りポイント残高から顧客に渡された目標取引ポイント数を減算することにより預りポイント残高を更新する（ステップ12）。

【0023】さらに、預りポイント残高更新手段3で更新された預りポイント残高から、目標ポイント数設定手段6で設定された目標ポイントまでの必要ポイント数を計算し（ステップ13）、図4および図5に示すレシートRに印字するなどして顧客に伝達する（ステップ14）。そして、預りポイント残高更新手段3で更新された預りポイントの最新残高をストアコンピュータやカード1などの預りポイント残高記憶手段5に記録し（ステップ15）、終了する。

【0024】また、レシートは、図4および図5に示すようになっている。

【0025】まず、基本的なレシートの部分は、図4および図5に示すように、レシート部10は、発行店名が記載されている発行店名欄11、発行した日時が記載されている発行時点欄12、購入品の品名および金額が記載されている購買記載欄13、合計金額が記載されている合計欄14、預り金が記載されている預り金欄15および釣り銭が記載されている釣り銭欄16が設けられている。

【0026】一方、レシート部10の下部には、ポイント部20が連続して設けられている。このポイント部20は、目標ポイントに達しなかった時には、図4に示すように、前回までの預りポイント残高が記載されている前回預りポイント残欄21、今回のポイントが記載されている今回ポイント欄22および目標までの残りのポイント数が記載されている目標ポイント残数欄23が設けられ、たと

(4)

特開平6-036143

5

6

例えばそれぞれ前回残ポイント数50点、今回ポイント100点、たとえば目標ポイント数が200点に設定されている場合として、次の目標達成まであと50点である旨が記載されている。

【0027】また、目標ポイントに達した時のレシートRは、図5に示すように、さらに、目標達成時に顧客に渡すポイント数を記載する受渡しポイント欄24が設けられており、たとえば前回預りポイント残高180点に、今回ポイント50点を加算更新した結果、目標ポイント数200点に達したので、目標が達成されたことを表示する。そして、顧客に取引ポイント200点を渡した後、次の目標ポイント達成まであと170点である旨のポイント数を表示する。

【0028】なお、これら図4および図5に示すレシートRには、ポイント部20で顧客に前回預りポイント残高、今回取引ポイント、目標までの取引ポイント数などを伝えるようにしているが、ポイント部20は、通常のお金銭登録処理表示であるレシート部10と必ずしも連続している場合に限らず、切り離してもよい。

【0029】次に、取引ポイントを顧客に渡す単位としての目標ポイント数を全顧客、顧客群もしくは顧客別に設定する動作を図3に示すフローチャートを参照して説明する。

【0030】まず、目標ポイント数が全顧客同一の設定かどうかを判断し（ステップ21）、全顧客同一の設定の場合、目標ポイントAを全顧客に設定して（ステップ22）終了する。

【0031】一方、ステップ21で目標ポイント数が全員対象でないと判断された場合は、目標ポイント数をたとえば会員番号、住所、氏名あるいは購買データといった目標ポイント数を設定する条件を入力し（ステップ23）、たとえばストアコンピュータ内の顧客データベースから会員データを読み込む（ステップ24）。

【0032】そして、読み込まれた会員データが、目標ポイント設定条件に合致しているかどうかを判断し（ステップ25）、条件に合致している場合は、該当する顧客に目標ポイントBを設定する（ステップ26）。

【0033】一方、ステップ25にてポイント設定条件に合致していない場合は、ステップ23においてポイント設定条件に合致しない顧客群に対する目標ポイントの設定の指定が別途なされているかどうかを判断し（ステップ27）、目標ポイント設定の指定が別途なされている場合には、目標ポイントCを設定する（ステップ28）。

【0034】さらに、顧客全員に対して1人ずつ目標ポイント数の設定を行ない、顧客全員が終了したかを確認し（ステップ29）、顧客が全て終了していない場合はステップ24に戻り、顧客が全て終了した場合には、新たな

目標ポイント数と設定条件入力があるかどうかを判断する（ステップ30）。そして、新たな目標ポイント数と設定条件入力がある場合、ステップ23に戻り、ステップ29でないと判断された場合は終了する。なお、目標ポイントA、B、Cは、すべて異なる数値でも、同一の数値でもよく、それぞれ任意の数値に設定できる。

【0035】上記実施例によれば、目標ポイント数は顧客の購買実績などに基づいて任意に設定できるため、購買意欲の向上なども図ることができる。

【0036】なお、購買額に関する取引ポイントとしては、通常の購買額に応じた取引ポイントに限らず、その他任意に設定されるボーナス点なども含まれる。

【0037】

【発明の効果】請求項1記載の取引ポイント処理装置によれば、預りポイント残高記憶手段で記憶されたポイントの残高に、取引ポイント計算手段で計算されたポイントを加算するとともに、顧客に渡した取引ポイントを減算し、預りポイント残高記憶手段に記憶される預りポイント残高を預りポイント残高更新手段で更新し、目標ポイント数設定手段で顧客に従い設定された目標までの取引ポイントを目標ポイント残数表示手段で顧客に知らせるため、目標までの取引ポイントの残数を容易に把握することができる。

【0038】請求項2記載のレシートによれば、目標ポイントから購買に関する取引ポイントの預り残高を減算した目標ポイント残数が記載された目標ポイント残数欄を有しているため、目標までの取引ポイントの残数を容易に把握することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の取引ポイント処理装置を示すブロック図である。

【図2】同上動作を示すフローチャートである。

【図3】同上動作を示すフローチャートである。

【図4】同上レシートを示す説明図である。

【図5】同上レシートを示す説明図である。

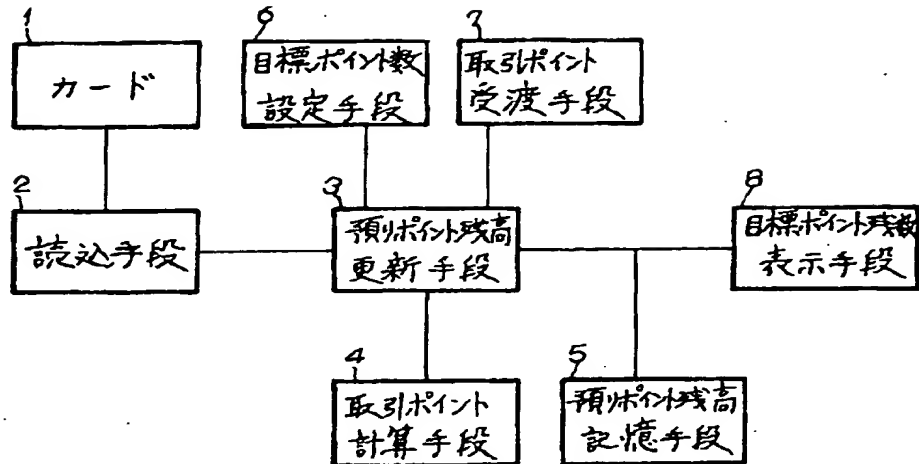
【符号の説明】

- 1 カード
- 2 読込手段
- 3 預りポイント残高更新手段
- 4 取引ポイント計算手段
- 6 目標ポイント数設定手段
- 8 目標ポイント残数表示手段
- 11 発行店名欄
- 12 発行時点欄
- 13 購買記載欄
- 23 目標ポイント残数欄

(5)

特開平6-036143

【図1】



【図4】

| | | |
|-----------|-------|--------------|
| 〇〇商店 | | 11 発行店名欄 |
| 1992年7月7日 | | 12 発行日欄 |
| タバコ | 200 | 13 購買記 数欄 |
| ガム | 100 | |
| チョコレート | 300 | |
| 牛肉 | 9400 | |
| 計 | 10000 | 14 |
| 預 | 10000 | 15 |
| 約 | 0 | 16 |
| 50020001 | | |
| 前日目標ポイント残 | 500点 | 21 |
| 今日ポイント | 100点 | 22 |
| 次回目標ポイント | 500点 | 23 |

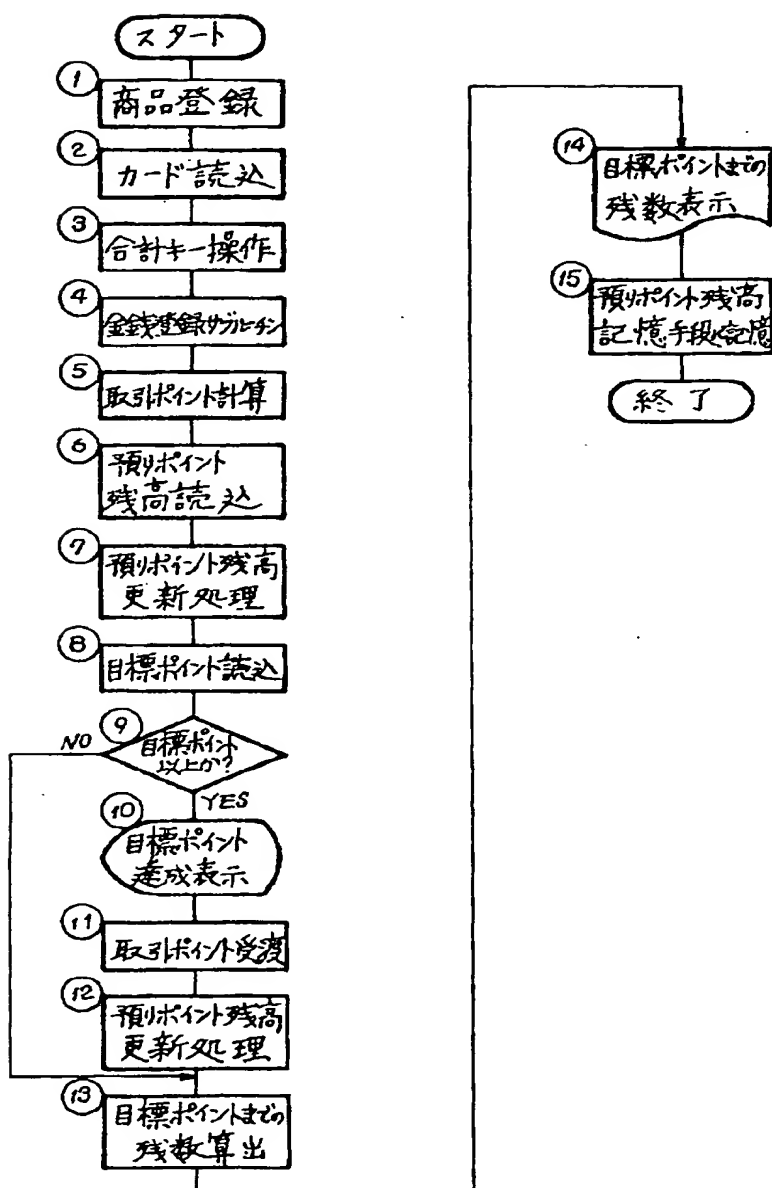
【図5】

| | | |
|-----------|-------|----|
| 〇〇商店 | | 11 |
| 1992年7月7日 | | 12 |
| タバコ | 200 | 13 |
| ガム | 500 | |
| 豚肉 | 4300 | |
| 計 | 5000 | |
| 預 | 10000 | 15 |
| 約 | 5000 | 16 |
| 50020001 | | |
| 前日目標ポイント残 | 1000点 | 21 |
| 今日ポイント | 500点 | 22 |
| 目標達成 | 200点 | 24 |
| 次回目標ポイント | 1700点 | 25 |

(6)

特開平6-036143

【図2】



(7)

特開平6-036143

【図3】

